

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <C票> 第三者評価結果 【経済学研究科】

教育研究目標 1

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 2名	左記を選択した理由： ・現時点での目標として、適切な形で具体的に定められていると思います。（評価者A） ・関係性が高く、具体的である。（評価者C）
「具体的でない」 1名	左記を選択した理由： ・ニーズの内容をもう少し具体的に記載することが期待されます。（評価者B）
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<評価者からのコメント> ・ニーズの内容の記載がないため、妥当性の評価が難しいように感じます。（評価者B） ・客観的に見て妥当な内容である。（評価者C）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<評価者からのコメント> ・行動計画の指標を総合したものではなく、より客観的な指標が望まれます。（評価者B） ・4つの評価尺度は妥当でわかりやすい。（評価者C）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<評価者からのコメント> ・変更時間に時間を要すると思われるため、その点においては妥当と思われる。（評価者B） ・スケジュール設定は適切である。（評価者C）

教育研究目標 2

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 3名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ 適切な具体的目標が掲げられています。（評価者A） ・ 国連・外交コースの活用を明示している点が評価できます。（評価者B） ・ 6年後のめざす姿が具体的にイメージ出来る。（評価者C）
「具体的でない」 0名	<u>左記を選択した理由：</u>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取り組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 現在、「国際機関で働く」卒業生の数を考えるとかなり大胆な目標だと思います。（評価者A） ・ 意欲的な取り組みが評価できますが、学部教育との連携についての記載が望まれます。（評価者B） ・ 意欲的な取組である。（評価者C）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 行動計画①の評価尺度と、目指す姿の評価尺度の整合性、区別化について再考が望まれます。（評価者B） ・ 4つの評価尺度は明確でわかりやすい。（評価者C）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<u><評価者からのコメント></u> ・ 評価尺度を再考の上、再設定が期待されます。（評価者B） ・ スケジュールは適切に設定されている。（評価者C）

教育研究目標 3

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 2名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ 指標として具体的な数値をあげていること、また、目標との整合性の観点から関係は具体的です。（評価者A） ・ 関係性が高く具体的である。（評価者C）
「具体的でない」 1名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ 分かりやすい内容ですが、学部の教育研究目標4と全く同じ内容となっているため、再考が期待されます。（評価者B）
その他気づいた点： ・ 目標のタイトルが「学部」になっています。（評価者A） ・ 英語での情報発信については目指す姿には記入されていません。（評価者B）	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 妥当な目標であると思います。（評価者A） ・ 妥当な内容と思われませんが、目標に記載した内容が学生の教育や目指す姿に具体的にどのような影響があるかについても記載するとさらに良いように思います。（評価者B） ・ 意欲的な取組であり評価できる。（評価者C）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 行動計画の尺度を集約する形ではなく、本来は、研究成果を社会に還元し寄与する結果を測る指標が望まれます。（評価者B） ・ 評価尺度も数値化されており妥当である。（評価者C）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<u><評価者からのコメント></u> ・ スケジュールとしては適切のように思われます。（評価者B） ・ スケジュール設定も適切である。（評価者C）